



花園の道に積雪(12月5日)

「100の仕事をこなすから百姓だ」とは、いつもの吹聴です。ただし、101番目になるのがビデオの操作。なので、きたる12月18日には子どもに頼んで録画予約をセットすることにします。何の話かというところ…

「ねがい」プロジェクト

12月18日
 NHKテレビ
 で放映予定

広島の中学生から世界に

写真は、さる11月7日(月)の朝、NHKテレビの画面です。「ねがい」プロジェクトについて特集で報じていました。

ステージ手前に写っている3組(4人)のうち、向かって左が金元中さん。新しく作詞した韓国語の「ねがい」を歌いました。左から2人目が、ナターシャ・グジーさん。みずからの「ねがい」をウクライナ語で歌いました。

と、2人については放映されたのですが、写真の右端。日本語で歌ったきたがわてつさんは紹介されませんでした。さらに、このイベントは「日本のうたごえ祭典」のプログラムの1つでしたが、それもまったく報じられませんでした。

まちがいなく事実だけを報道しているにも関わらず、全体の姿はさっぱり伝えられていないわけで…。改めて、私たちが、テレビもしくはマスコミから受け取る情報とはそういうものだということを普段どれほど意識しているだろうかと考えさせられました。

と、インターネットで書いたら、知り合いのsaeさんから意見。

なるほどまったくそのとおりです。入り口と出口だけ知らせて、どこをどう通ったかをすっ飛ばす報道というのが、短絡思考の人間を大量生産させている元凶のひとつだと思う。けれど一方、迷うところでもあります。

あの場に共に居た私が思うには、『うたごえ祭典』というイベントのタイトルを世間の皆様知ってもらふことよりも、「ねがい」という『うた』を聞いてもらい、さら



にそのうたがどこでどう人々のくらしと結びついているかを知ってもらうことが第一義であると。そのためにイベントのタイトルを伏せることが現状の中で「必要」であるなら、ま、お好きにと。

きたがわてつちゃんについては、あのニュースのコンセプトが、「ヒロシマの中学生がつくった平和を願う歌がこんなに世界に広がっています」というところにあるのだから(ちなみに、ずっと「ねがい」にまつわるシーンを追いかけていて、12月に放映されるという特番をつくっているのはNHKの国際部なんだって)、限られた時間の中で省かれるのは当然とも思うし、それにてつちゃん一人よりも後ろに並んだ合唱隊の「量」が写されたことの方がそのコンセプトには正しく沿っていると思う。

いずれにせよ、もう一つ忘れないでおこうと思うのは、あのニュースを放映「させた」NHK職員(たち)がいるということ。

また、知り合いQさんによれば、この取材をしている職員は、自費で休暇を取って8月の韓国光復60年の日韓合同の「ねがい」を取材に同行しています。反響がよいことから、追加放送、そし

広島の中学生たちが作詞した「ねがい」は4番まで。5番以降の詞を世界中に呼びかけ、現在、266番まで登録されています。
<http://qrl.jp/?207625>

- 1 もしもこの頭上に 落とされたものが
ミサイルではなく 本やノートであったなら
無知や偏見から 解放たれて
きみは戦うことを やめるだろう
- 2 もしもこの地上に 響きあうものが
爆音ではなく 歌の調べであったなら
恐怖や憎しみに 囚われないで
人は自由の歌を うたうだろう
- 3 もしもこの足下に 植えられたものが
地雷ではなく 小麦の種であったなら
飢えや争いに 苦しまないで
共に分かち合って 暮らすだろう
- 4 もしもひとつだけねがい 叶うならば
戦争捨てて 世界に愛と平和を
このねがい叶うまで わたしたち人類は
歩みつづけることを やめないだろう

て、別番組も決まるようです。

われわれの側から見れば、もっとうしろで欲しい、ああして欲しいと言うことはありますが、そんなことよりsaeさんがいつているように、このことを取材し放送させた職員がいることをオオエんしたいのです。

長い前置きだったけど、ようやく本題。上記でちょっとふれている特別番組の日程が伝わってきました。きたる

12月18日(日曜) 14:25~14:54

年末の忙しい時期ですから、ビデオ録画をお忘れなく。

余談ついでに、百姓にとっての102番目の仕事は「携帯メール」です。さっぱり使えないというか契約すらしてない…。

モチ限定受注

- 白のしモチ 700円
- 豆モチ 700円
- 玄米モチ 700円

価格は昨年と同じです。モチ米は無農薬栽培。数に限りがあります。「苦モチ」を避けて、28日につく予定です。